

平成21年度 貸借対照表

(資産の部)

(単位:円)

科目		本年度末	前年度末	増 減
資産	固定資産	11,063,208,738	11,181,541,202	△ 118,332,464
	有形固定資産	10,319,382,618	10,490,670,352	△ 171,287,734
	土地	4,109,173,404	4,109,173,404	0
	建物	5,384,332,294	5,527,734,279	△ 143,401,985
	その他の有形固定資産	825,876,920	853,762,669	△ 27,885,749
	その他の固定資産	743,826,120	690,870,850	52,955,270
	流動資産	1,988,130,504	1,876,127,112	112,003,392
	現金預金	1,874,684,538	1,756,723,513	117,961,025
	その他の流動資産	113,445,966	119,403,599	△ 5,957,633
合計		13,051,339,242	13,057,668,314	△ 6,329,072

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

(単位:円)

科目		本年度末	前年度末	増 減
負債	固定負債	1,848,037,571	1,998,653,340	△ 150,615,769
	長期借入金	1,685,170,000	1,829,610,000	△ 144,440,000
	退職給与引当金	156,415,111	169,043,340	△ 12,628,229
	その他の固定負債	6,452,460	0	6,452,460
	流動負債	638,262,062	615,777,760	22,484,302
	短期借入金	144,440,000	144,440,000	0
	その他の流動負債	493,822,062	471,337,760	22,484,302
合計		2,486,299,633	2,614,431,100	△ 128,131,467
基本 金	第1号基本金	12,687,910,272	12,509,951,619	177,958,653
	第4号基本金	169,000,000	169,000,000	0
	合計	12,856,910,272	12,678,951,619	177,958,653
消費収 支差額	翌年度繰越消費収支差額	△ 2,291,870,663	△ 2,235,714,405	△ 56,156,258
	合計	△ 2,291,870,663	△ 2,235,714,405	△ 56,156,258
負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計		13,051,339,242	13,057,668,314	△ 6,329,072

貸借対照表の概要

学園の総資産額は約130億円と数年間大きな変動がない。ただし、資産の構成は、「流動資産の増加」、「固定負債の減少」という一般的に見て良好な傾向がここ数年続いている。

課題としては、固定資産保有率の高さが上げられる。これは、平成14年度に取得した高校の新築・移転に係る土地・建物が大きな要因である。また、そのための長期借入金は固定負債の大きな要素となっている。平成18年度の第1次長期経営計画から、資産構成における「流動資産」は11.4%から15.2%に増加している。一方、負債の構成は23.1%から19.1%に減少した。企業で言う「流動比率」の評価値は、そのまま学校法人での基準にはあてはまらないが、「資金収支計算書」での「現・預金」の蓄積とそこから可能になる「減価償却引当特定資産への繰入」等の特定資産への繰入額とが、貸借対照表の評価を決定していると言える。

平成34年度まで継続する高等学校の借入金返済を見据え、「資金収支計算書」での安定した収入超過の継続がすべてのバランスを好転させると考える。